

豊明市教育委員会 会議録
「定例会 平成28年4月」

平成28年4月15日（金）午後2時30分豊明市教育委員会4月定例会は、豊明市役所東館3階教育委員会室に招集された。

1 応召委員は、次のとおりである。

委 員 長	:	久留島 夕 紀	委員長職務代理者	:	青 山 佳 代
委 員	:	兼 子 幸 夫	委 員	:	山 下 徳 治
教 育 長	:	市 野 光 信			

2 不応召委員は、次のとおりである。

な し

3 出席委員は、次のとおりである。

委 員 長	:	久留島 夕 紀	委員長職務代理者	:	青 山 佳 代
委 員	:	兼 子 幸 夫	委 員	:	山 下 徳 治
教 育 長	:	市 野 光 信			

4 欠席委員は次のとおりである

な し

5 会議事件説明のため出席を求めたものは、次のとおりである。

教 育 部 長	:	加 藤 賢 司	学 校 支 援 室 長	:	下 出 修 史
学 校 教 育 課 長	:	堀 井 浩 二	生 涯 学 習 課 長	:	高 木 安 司
図 書 館 長	:	浅 田 利 一	文 化 会 館 館 長	:	稲 熊 篤 子
図 書 館 次 長	:	服 部 英 俊	生 涯 学 習 課 長 補 佐	:	青 木 由 美 枝

6 本会の事務に従事したものは、次のとおりである。

事務局（担当係長）後 藤 明 紀、事務局（主事）近 藤 菜 保

本会事件は、次のとおりである。

議案

- （１） 豊明市大学等入学支援金選考委員会設置条例（案）について
- （２） 教育委員会規則の制定について

報告

- （１） 平成28年豊明市議会定例会3月定例会月議会一般質問について
- （２） 平成28年度小中学校各主任等について
- （３） 平成27年度豊明市教育委員会下半期事業報告について
- （４） 平成27年度学校評価の結果について
- （５） 豊明市立小中学校事務処理等規程に基づくブロックリーダーの選任について
- （６） スポーツ推進委員の委嘱について

(7) 教育委員会後援申請について

その他

- (1) 平成28年度小中学校四役について
- (2) 平成28年度児童生徒数及び学級数について
- (3) 人事異動に伴う教育委員会の新体制について
- (4) 豊明市社会福祉協議会理事の推薦依頼について

開会宣言 午後2時30分、4月定例教育委員会の開催を宣言。

会議録承認 3月定例会（3月15日分）の会議録について、承認する旨確認。

委員長 新年度に入り、新しい方も加わったということで、今年度もよろしくお願いいたします。
昨日から熊本県を襲った地震の被害の詳細も明らかになってきています。127年前の明治22年に一度熊本県で地震が起きているので、今回2度目ということで、平成28年熊本地震と名づけられています。公立の小中学校と県立の高校の73校でひび割れや窓ガラスが散乱しており、4月がスタートしたところですので、早く子どもたちが安心・安全に学校生活が送れるようにと願っております。私からの報告ですが、3月18日は、小学校にて卒業証書授与式が行われ、私は中央小学校へ出席しました。卒業生は男子59名、女子74名で、別れの言葉も大変力強く、「旅立ちの日に」の歌声も女子が10数名多い分、高い声の響きがきれいでした。4月1日は、平成28年度豊明市教職員着任式に出席しました。昨年の臨時会場である文化会館より、中央公民館は広くてまた大変明るく、新任の5名の先生方も一層輝いて見えました。4月6日は、双峰小学校の入学式に行ってきました。41名の新1年生でした。ご夫婦揃っての方も多く、年々お父様の姿も目立ってきているように感じました。4月7日は、栄中学校の入学式に行きました。式の最後に体育館に響き渡った在校生の合唱は、大変素晴らしく、204名の新1年生は背筋を伸ばして聞き入っていました。改めて中学生の力強さというものを実感しましたし、式の時に在校生が歌って聞かせるというのは、新一年生にとって何よりの贈り物になるだろうと思って聞いておりました。4月11日は、愛日地方教育事務協議会が三の丸庁舎で開催されました。新委員の方と共に28年度がスタートしました。私からは以上です。続きまして、教育長報告をお願いいたします。

教育長 春を迎え本年度第1回目の定例教育委員会です。各委員の皆様、本年度もよろしくお願いいたします。4月といえば入学式です。私は沓掛小学校、沓掛中学校の入学式に出席致しました。入学式で毎回感じることは新1年生の目の輝きです。興味や関心が高いことに接すると目の瞳孔が開いて、そしてその瞳孔に光が反射して輝いているように見えるそうです。先日、本年度1回目の教頭会議と主任会議があり、その時に私からの挨拶で、「授業で子供たちの目が今よりもっと輝き、そして夢中になるような授業を作って欲しい」と伝えました。次に、特にリーマンショック後に落ち込んだ外国人の人口が、最近徐々に増加しています。リーマンショック前の3,000人超には及びませんが、4月1日現在2,450人の方が豊明市に在住されています。本市の強みとして、子供たちに日本語習得支援を行う、プレクラス（日本語初期指導）とプレスクール事業があります。今年度からパワーアップし、日本語初期指導に続く日本語初級指導の事業が始まり、それぞれ3か月ずつです。学校の授業に参加するための日本語の力をより一層身につけて、一人でも多くの子どもが高校や大学に進み、あるいは社会に出て活躍してもらいたいと願っています。昨年、一昨年度に市内小中学校に製氷機を寄付してくださった、ホシザキ電機株式会社さ

んは、この事業に対して深い理解と関心を持ってくださり、費用面で支援をしてくださる予定です。本当にありがたいことです。私からは以上です。

委員長 ありがとうございます。ただいまの委員長報告、教育長報告について、ご意見ご質問等
はございますか。

委 員 いつも卒業式で感動し、入学式で子どもたちの光り輝く目を見ると、やはりいいものだと
感じています。そのような感覚を心に置いてしっかりと教育を支援しないといけないと思ってお
ります。

議 事 の 経 過

委員長 それでは議事に入ります。議案（１）「豊明市大学等入学支援金選考委員会設置条例（案）
について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 （資料第８号に沿って説明を行う。）

委員長 今のご説明につきまして、ご意見ご質問がございましたらお願いします。（なし）それでは、
ただいまの議案（１）「豊明市大学等入学支援金選考委員会設置条例（案）について」承認される
方は挙手をお願いします。（全員挙手）それでは、承認いたします。続きまして、議案（２）
「教育委員会規則の制定について」ご説明をお願いいたします。

学校教育課長 （資料第９号に沿って説明を行う。）

委員長 今のご説明につきまして、ご意見ご質問はありますか。

委 員 確認させていただきたいのですが、豊明市大学等入学支援金給付条例施行規則（案）につ
いて、第３条に、「申請は、入学支援金の給付を受けようとする年度の７月１日から７月３１日ま
での間にしなければならない」とありますが、一般的に高校３年生の７月ということですよ。

学校教育課長 そうです。今高校３年生の人が今年の７月に申請するということです。その後は８
月中に選考して、９月の中旬に合否決定する予定であります。

委 員 奨学生は５名ですが、そのうち受験に落ちてしまった場合に繰り上げになるのですか。

学校教育課長 ５名以内ですので、５名より少なくなる可能性もあります。追加の奨学生の合格は
今のところ考えておりません。

委員長 他にご意見ご質問はありますか。（なし）それでは、ただいまの議案（２）「教育委員会規
則の制定について」ということで、３つの規則についてご説明いただきましたが、３点について
承認される方は挙手をお願いします。（全員挙手）それでは、承認いたします。続きまして、報
告に移ります。報告（１）「平成２８年豊明市議会定例会３月定例会月議会一般質問について」ご説
明をお願いいたします。

教育部長 （資料第１号に沿って説明を行う。）

委員長 今のご説明につきまして、ご意見ご質問はありますか。

委員 早川議員からの質問で、小学校の統廃合について聞かれています、教育部長がお答えになったことについて、追加のご意見やご質問等はあったのでしょうか。

教育部長 やはり教育委員会が市民に意見聴取をするべきではないかというお話しはありました。その中で、市長から教育委員会の考えはどうかということを知られたので、市民の声ではなく、教育委員会の考えを市長に回答したとお答えしました。

委員 いろいろな意見があると思いますので、うまくやっていかないと先に進んでいけないと思いますので、よろしくお願いいたします。一点教えていただきたいのですが、名古屋市が行っている「なごや子ども市会」とはどのようなものなのでしょうか。

教育部長 議会事務局が行っており、一般公募で子どもたちを集めております。ただ質問するだけでなく、事前に子どもたちに議員の仕事について、どんなことに関わっているかを子どもたちに説明し、議会だけではなく、委員会でしていることも教えながら、議会とはどのようなところかということのPRも含んでいるということです。子どもたちが実際に議場を使って質問するだけでなく、その前に議会がどんなことをしているか議員がどんな役割を担っているのかを子どもたちに説明する趣旨もあると聞いています。

委員 もう2点よろしいでしょうか。後藤議員がおっしゃっている、施設分離型一貫校の具体的な内容はどのようなことをおっしゃっているのでしょうか。

教育部長 施設が同じところにあれば一貫校にしやすいということは分かっているのですが、そうになると施設を作り直さなければなりません。改修することは不可能なので、今やれることとして、分離型の一貫校であればできるのではないかとご質問でした。それについて、教育委員会は導入する考えはないかという質問で、中学校に入って増える不登校を何とかしたいという思いがあるということでした。現在私もそれを視野に入れていますが、協同の学びや学力充実プランからアプローチをしておりますので、それを進めたいということはお説明をしております。学校としても複数の目標を立てるのは難しいということで、校長先生以下、一つの同じ方向に向かって教育ができるよう取り組んでいきたい。そのような回答をしております。

委員 具体的には施設分離型の一貫校というのは、施設が分離していても校長先生が一人になるということですか。

教育部長 文部科学省は、校長は1人であり、2人の場合は小中連携教育で一貫教育ではないとしています。一貫校にすると効果があることは承知しているのですが、教員が移動しなければならないので、打ち合わせをしながらどのようなカリキュラムを進めていくかということで相当な負担があるため、早期に実施することは難しいと今は考えています。

委員 もう1点質問ですが、富永議員の知多5市5町での広域的利用についての質問で、一番のメリットは自分の市町で取得したIDで他市町の施設も使えるということだと思います。IDを持ってインターネットで検索すると、その場で他市町の施設やグラウンドが予約できるという点が優れていると思います。これは今すぐできることではありませんが、協力しながらその方向で進めていくと市民サービスに大変貢献すると思います。議員がおっしゃっているのは、やっているということだけではなく、そのような予約システムも含めて総合的に便利な市民サービスにつながると思いますので、私は検討すると良いと個人的には思います。

教育部長 議員は、文化会館のホールが利用できないので、近隣市町の施設をお借りできないかということで、刈谷市や大府市を含めた5市5町であれば利用料金は同じであるということですが、

市外の人には5倍の料金がかかるので、本市も同じ利用料金でできるようにしたいという要望でした。愛知県が広域行政圏というのを定めておりまして、豊明市の場合ですと尾張東部の広域圏で、瀬戸市、尾張旭市、長久手市、日進市、東郷町、豊明市がその圏域で、その中で行政的な協力体制をとるようにという指導をしております。県の指導もあって、豊明市は尾張東部と連携をとることになっているので、圏域を外れると今は連携が上手くとれていないのですが、圏域に限らず利用できるようにすることをこれからも研究していかなければならないと思います。

委員 尾張東部の中の協力体制が、知多の5市5町に比べるとまだまだ薄い部分もあると思うので、例えば、刈谷市や大府市とすぐに連携をとるということではなくても、広域の協力体制の指示があるのならば、その中で知多の5市5町のような体制を組んで圏域内でも市民が借りやすくなったということになれば、第一歩としては良いのではないかと思います。

教育部長 委員がおっしゃるとおりで、今回文化会館が使えなくなるということがきっかけですが、他のグラウンドや体育館を相互利用していく必要が十分にあるということは承知しておりまして、今でも豊明市は東郷町、日進市、長久手市で市町村の連携を組んでおり、その中でそのような案件は出ているそうですので、そこでしっかりと議論していただきたいと思っております。

委員 今もそのような話があるのであれば、共通のIDで予約が取れるようにするとサービスが向上すると思いますので、よろしくお願いいたします。

委員長 他にご意見ご質問等はございますか。

委員 ひまわりの代表質問と、蟹井議員からの質問で、スクールソーシャルワーカーの業務として、外部関連機関との連携を図り、学校だけでは対応できないケースを担当しているとのことですが、今まで実際に連携を図った外部関連機関というのは、どのようなところがあるのでしょうか。

学校支援室長 児童相談所、保健センター、「fp トヨアケ」という学校に行けない子どもたちが代わりにそこへ行くNPO法人の施設、くるみの家、緑区にある「はるかぜ」という施設と連携を図っています。

委員 今言われた「fp トヨアケ」、「くるみの家」、「はるかぜ」はフリースクールのようなものでしょうか。

学校支援室長 フリースクールではありません。

委員長 他にご質問等はよろしいでしょうか。(なし) 続きまして、報告(2)「平成28年度小中学校各主任等について」ご説明をお願いいたします。

学校支援室長 (資料第2号に沿って説明を行う。)

委員長 今のご説明につきまして、ご意見ご質問はありますか。(なし) 続きまして、報告(3)「平成27年度豊明市教育委員会下半期事業報告について」ご説明をお願いいたします。

学校支援室長、学校教育課長、生涯学習課長、図書館長 (資料第3号に沿って説明を行う。)

委員 学校教育課・指導室の「プレスクール・プレクラス事業」についてですが、これにより、外国籍の子どもが日本語の授業を理解できるようになるということですが、数年先にはこの子ど

もたちはバイリンガルになるのでしょうか。

学校支援室長 自分が関わってきた子どもたちの様子を見ると、日本語が理解できるようになってきた子がいたのは事実ですが、それがバイリンガルのような両方の言葉がきちんと身について生活をしていたかという、母国語は家では話されていると思いますが、ひょっとしたら学校でよく使っているのが日本語の方に力がついていたのではないかという気がしています。私がお話しているのは日本語がよく話せるようになっていった子についてであり、それがすべてではありませんが、中には3か月のところを6か月まで指導の期間を延ばしているのですが、それでもなかなか日本語が身につかない子もあり、今後日本の社会で生活するには厳しいのではないかということが課題として残っているのも事実です。

委 員 今の委員のお話で、唐竹小学校の入学式で1年生の子たちに上級生の女子児童が日本語と外国語の両方で非常に上手に挨拶をしていました。その子が委員の言われるようなバイリンガルに成長しているのかなという感想を持ちました。

委員長 他にご意見ご質問はありますか。

委 員 生涯学習課で多彩な活動がありますが、教育委員として、自分に合ったところに積極的に参加させてもらって実態を把握することが大切であると思っております。他の委員の皆様も催しにはご都合をつけて行っていただくと良いかと思えます。

委員長 他にご意見ご質問等はありませんか。

教育長 先ほど委員からご質問のありましたバイリンガル、トライリンガルについてですが、豊明市としては、授業は日本語で行われているので、日本語を支援していこうということで、外国籍の児童生徒に対して母国語に関する指導は特段していないので、必ずしもバイリンガル、トライリンガルを育成するということではありません。自治体によっては、保護者から子どもがポルトガル語を忘れるので、ポルトガル語も教えてほしいということで、日本語指導もしながらポルトガル語指導もしているというところもあります。

委 員 私が質問した理由は、やはり家では母国語で話すでしょうから、それが残って日本の学校で受ける日本語による教育がうまく身についていくものかどうかということに興味がありましてお聞きしましたので、両方の言葉を教育しましょうということではありません。

委員長 他にご意見ご質問はありますか。(なし) 続きまして、報告(4)「平成27年度学校評価の結果について」ご説明をお願いいたします。

学校支援室長 (資料第4号に沿って説明を行う。)

委員長 今のご説明につきまして、ご意見ご質問はありますか。

委 員 学校関係者評価委員会というのは、各学校どのような方で構成されているのでしょうか。

学校支援室長 以前民生児童委員をされていた地域の方、元PTAの役員をされていた方、保護者の方で構成されており、民生委員の方がいらっしゃることもありました。

委 員 それは学校評議委員の方がそれにあたるとのことでしょうか。

学校支援室長　そうです。

委員長　他に質問等はございますか。(なし) 続きまして、報告(5)「豊明市立小中学校事務処理等規程に基づくブロックリーダーの選任について」ご説明をお願いいたします。

学校支援室長　(資料第5号に沿って説明を行う。)

委員長　このブロックリーダーは毎年変わるのでしょうか。

学校支援室長　原則事務長という役職がこの立場になるのですが、退職されて今おりませんので、今年度は主査と主任がブロックリーダーになっております。事務長がいれば交代することなく異動するまでブロックリーダーになると思っていただくといいかと思います。

委員　このことに関連してお聞きしたいのですが、PTAで集めて学校が預かっているお金は、校長や教頭が変わったときの事務引継ぎは学校単位できちんとなされているのでしょうか。

学校支援室長　はい、されています。

委員　事務处理的なことで感じたことですが、そのような引継ぎをシステムのやっていないと、特に退職されたときには聞くこともできませんので、銀行にお金が残ったままになってしまったりすることのないよう、よろしくお願いいたします。

学校支援室長　そのことについてきちんと話しをしておきます。

委員　今のお話で、いろいろな組織がありますが、執行役が実際の書類を作っているから間違いはないということではなく、監査役の監事が必ずチェックをするということをあらゆる組織が気をつけなければならないと思います。

委員長　他にご意見ご質問等はございますか。(なし) 続きまして、報告(6)「スポーツ推進委員の委嘱について」ご説明をお願いします。

生涯学習課長　(資料第6号に沿って説明を行う。)

委員長　今のご説明について、ご質問はございますか。(なし) 続きまして、報告(7)「教育委員会後援申請について」ご説明をお願いします。

学校教育課長　(資料第7号に沿って説明を行う。)

委員長　ただいまのご説明についてご質問等はございますか。(なし) では、報告は以上です。続きまして、その他(1)「平成28年度小中学校四役について」ご説明をお願いします。

学校支援室長　(その他資料①に沿って説明を行う。)

委員長　ただいまのご説明についてご質問等はございますか。(なし) 続きまして、その他(2)「平成28年度児童生徒数及び学級数について」ご説明をお願いします。

学校支援室長　(その他資料②に沿って説明を行う。)

委員長 ただいまのご説明についてご質問等がございますか。(なし) 続きまして、その他(3)
「人事異動に伴う教育委員会の新体制について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 (その他資料③に沿って説明を行う。)

委員長 ただいまのご説明についてご質問等がございますか。(なし) 続きまして、その他(4)
「豊明市社会福祉協議会理事の推薦依頼について」ご説明をお願いします。

学校教育課長 (その他資料④に沿って説明を行う。)

委員長 教育委員の中から推薦いたしますので、よろしくお願いいたします。では、次回の教育委員会
の日程についてお願いします。

学校教育課長 (5月19日(木)午後2時30分から5月定例教育委員会を開催、6月23日
(木)午後2時30分から6月定例教育委員会を開催する旨提出。)

委員長 他にございますか。(なし)

委員長 閉会宣言 午後4時35分、4月定例教育委員会の閉会を宣言。